

PPPエージェント方式による盛岡市動物公園公民連携事業の実施について

平成 29 年 9 月 21 日  
都 市 整 備 部

1 趣旨

盛岡市動物公園（以下「動物公園」という。）は、来園者数の減少等による財政負担増と施設の老朽化がみられることから、その対策のため、民間活力導入可能性調査（平成 27 年度）と公民連携導入可能性調査（平成 28 年度）を実施したところであり、平成 28 年度に実施した調査の結果を報告すると共に、平成 29 年度実施する岩山エリア公民連携事業基本計画及び動物公園再生計画の策定について説明するもの。

2 公民連携導入可能性調査（平成 28 年度）の結果

公民連携導入可能性調査の結果は、次のとおりである。

(1) 調査の目的

動物公園はPPPによる実施が可能とされたものであるが、本市においてはPPPの実績が乏しいことから、期待される事業効果及び事業リスクに対する考え方等について不透明な部分が多いため、その部分を可視化する。

(2) 調査実施に際して市から提示した事業条件

設立当初の設置目的と基本方針は堅持しつつ、事業成立ラインを精査した上で財政負担軽減につながる動物公園公民連携事業の提案を行うこと。

(3) 公民連携導入可能性調査の結果

ア 現状運営分析

(7) 損益分岐点

現状運営体制（設置者は市、運営者は公社）を維持したまま、指定管理料をゼロとした場合の損益分岐点は 396,577 千円で現状の売上高 96,581 千円を 410%にアップしないと企業会計は成立しない。

(4) 現状運営の状態で民間投資誘導

現状運営を鑑みると売上高を 4.1 倍とすることは現実的ではなく、現状の運営体制では民間の投資誘導を図り、売上を上げることは困難である。

イ 民間の資金を誘導できる施設への提案

動物公園に係る運営経費の一部と市が所有する設備に係る一定の経費は市が負担する条件のもとで、民間投資誘導が図れる事業となる。

(4) 動物公園公民連携事業提案

財務及び運営の問題点を検証し、公民連携事業（PPP）の事業理念の提案があった。

ア 動物公園の現状の形態での再生は非常に困難

現在の動物公園施設は、設備投資や修繕費の予算化ができず、修繕では対応できない状態であり、施設の破損や故障でいつ閉園してもおかしくない状況で、同様な施設として再生しても同じ状況に陥るおそれがあるため、新たな動物公園像を作ることを検討する。

イ 動物の能力を最大限活かすコンテンツ作り

動物公園としての再生は困難であるが、動物等は生存し続ける。そこで、動物の能力、具体的には人間に与える癒しや精神高揚の能力を活用した動物コンテンツを思考し、あたらしい価値を

生む動物公園のあり方の検討を行う。

ウ 動物の能力によって盛岡市都市経営課題が解決する仕組み作り

動物を活用したコンテンツは、市の都市経営課題を解決することと結びつけることが重要である。単なる見せ物の動物ではなく、盛岡市民の多くが繋がる動物公園を目指す。

エ 長期的な修繕計画も織り込んだ自立した事業構築

現状、修繕費の予算化も難しい状況であるが、市の都市経営課題解決のためとしての予算化、また、民が稼げる施設に仕上げることで、民が拠出する経費を修繕費用に活用するなど、運営資金も含めた議論が今後必要となる。

3 平成29年度に事業者（エージェント）へ業務委託する内容

PPPエージェント方式により、計画策定する業務内容は次のとおりである。

(1) 岩山エリア公民連携事業基本計画検討業務

ア 市が策定する岩山エリア公民連携事業基本計画に対し、専門的見地から指導・助言を行い、策定を支援する。

イ 市が整理する岩山エリア公民連携事業基本計画の内容は次のとおりである。

(ア) 計画の位置付け

岩山エリアに関係する各種施策計画との関係性を整理

(イ) 計画エリアの設定

公共施設と民間施設を含めて、事業開発するエリアの設定

(ウ) エリアの課題

エリアで抱える課題の整理

(エ) 公民連携事業概念の整理

公民連携事業による大まかな概念を整理

(オ) 理念設定

理念設定の背景及び設定

(2) 動物公園再生計画作成業務

ア 岩山エリア公民連携事業基本計画策定と並行し、市及び有識者等と連携しながら、動物公園再生計画を作成する。

イ 動物公園再生計画の内容は次のとおりである。

(ア) ゾーニング計画

動物公園のゾーニング計画を作成

(イ) 各施設整備及び運営に係るPPPの検討

収益最大化のための動物公園施設及び民間収益施設の整備手法を検討

(ウ) 来園者数推移の整理

事業着手後の来園者数の推移を整理

(エ) 財政シミュレーション

事業収益や来園者数から財政シミュレーションを整理

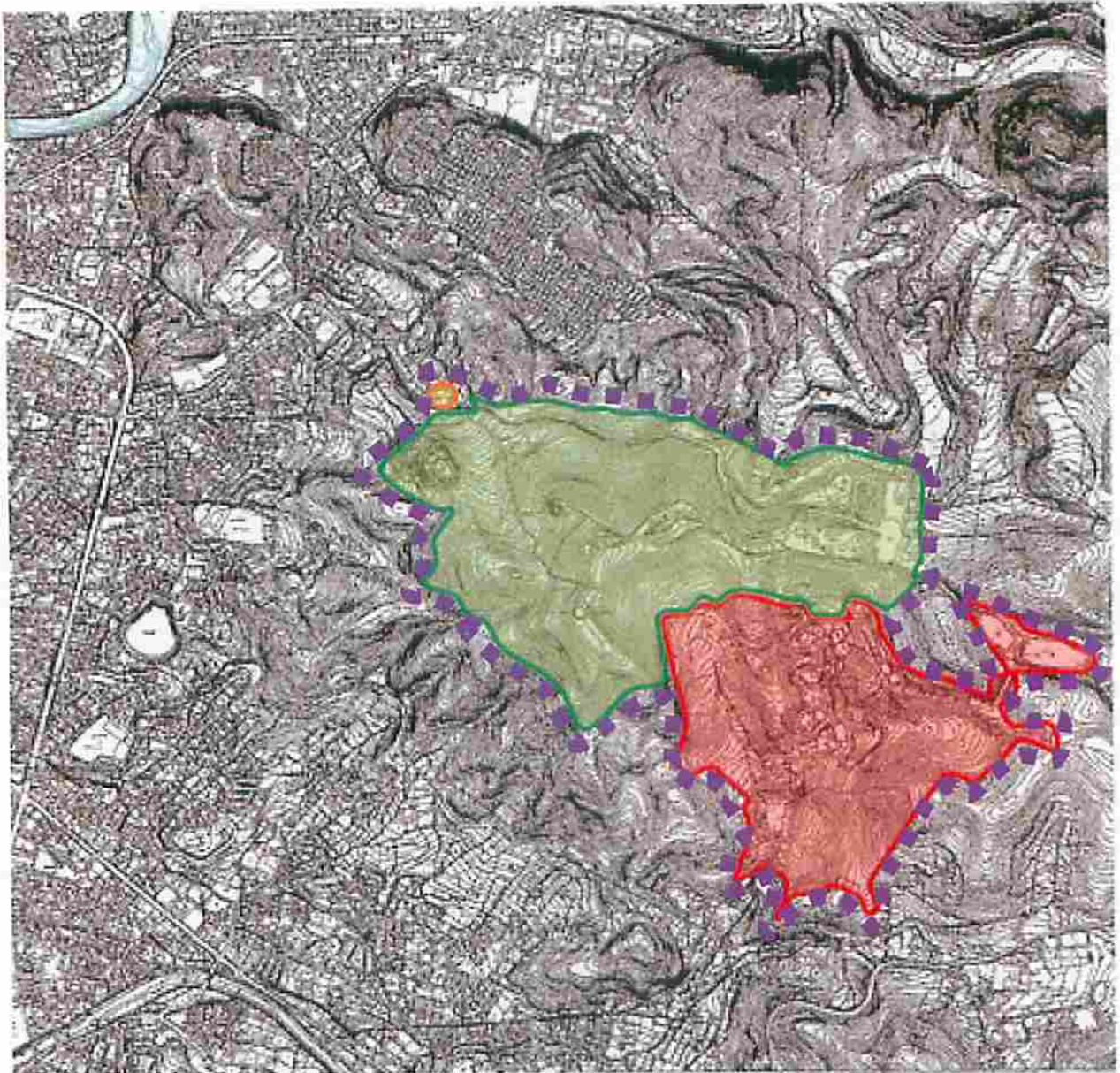
(オ) 事業工程

施設の老朽化と効率的な事業収益性向上を考慮し、有効な事業工程の整理

(カ) 動物公園運営会社の組成方針

動物公園全体の運営をマネジメントする会社の組成方針を整理

# 岩山エリア



凡例	
■ ■ ■	岩山エリア (計画エリアは今年度設定)
■ ■ ■	動物公園 (岩山南公園：都市計画決定区域)
■ ■ ■	岩山公園 (都市計画決定区域)
○	旧漆芸美術館